

タイの介護人材（ケアマネージャーとケアギバー）

- 今回新設された介護士の資格とは別に、タイ保健省が行っている介護人材のプログラムがある。
- タイ保健省は2016年に地方における要介護高齢者の10%にあたる 10 万人の介護を目標に、地域レベルでの介護人材として、ケアマネージャー（Care Manager）とケアギバー（Care Giver）の育成プログラムを策定した。ケアギバー 1 名につき、高齢者7名から10名、ケアマネージャー 1 名がケアギバー4名から5名を管理するシステムである。
- タイのケアマネージャー・ケアギバーは、介護の知識を持った地域のボランティアであり、ケアマネージャーが作成するケアプランに基づき、ケアギバー、医療関係者、自治体関係者、ヘルスボランティア、家族介護者などが高齢者の介護にあたる。基本的には自立度の高い高齢者の在宅ケアをサポートしている。
- 今回の調査は、将来的なビジネス展開を見据えたものであるため、ボランティアを主な目的とするケアマネージャーとケアギバーについては詳細な調査を行わない。